

## 2025年度 授業コード: 13101500

授業科目	インバウンド観光論				実務家教員担当科目	-					
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期				
担当教員	劉 明										
授業概要	訪日客の増加は日本にどう影響を与え、今後どのような動きをみせるのか注目されている。「インバウンド観光論」では、日本における観光立国、ビジット・ジャパン・キャンペーン等について論じ、観光マーケティング及びホスピタリティの視点から、日本や九州におけるインバウンド観光の振興にとっては、重要なターゲットとなるアジア、オセアニア、北米、欧州の国・地域からの訪日観光客の誘致を事例に講義する。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛ける。また、授業の内容と関係あるビデオの活用・映像教育も図る。										
授業形態	対面授業			授業方法	Google フォームを利用して理解度を測る。						
<b>学生が達成すべき行動目標</b>											
標準的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>観光立国の意味を理解することができる。</li> <li>訪日マーケットの現状と展望を把握することができる。</li> <li>観光マーケティングとホスピタリティの概念や定義を理解することができる。</li> <li>インバウンド観光の知識を身につけることができる。</li> <li>九州におけるインバウンド観光のあり方を理解することができる。</li> </ol> 示されている5つの到達目標を達成することができる。										
理想的 レベル	示されている5つの到達目標を達成できると同時に、習得した知識を研究や観光フィールドワーク及び観光産業界への就活に反映させることができる。										
<b>評価方法・評価割合</b>											
評価方法		評価割合（数値）			備考						
試験											
小テスト											
レポート		50									
発表（口頭、プレゼンテーション）		30									
レポート外の提出物											
その他		20			意見を発言してくれたり、積極的に質問・提案をしてくれたり、といったことが評価されます。						
<b>カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング</b>											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	T021115J
<b>学習課題（予習・復習）</b>										<b>1回の目安時間（時間）</b>	
予習・復習										4	
<b>授業計画</b>											
第1回	テーマ：オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説明する。										
第2回	テーマ：九州及び日本における観光立国										

	ビジット・ジャパン・キャンペーン&観光立国について
第3回	テーマ：東アジアの訪日旅行の動向① 中国
第4回	テーマ：東アジアの訪日旅行の動向② 台湾
第5回	テーマ：東アジアの訪日旅行の動向③ 韓国
第6回	テーマ：東アジアの訪日旅行の動向④ 香港
第7回	テーマ：東南アジアの訪日旅行の動向① タイ、ベトナム、インドネシア
第8回	テーマ：東南アジアの訪日旅行の動向② マレーシア、シンガポール
第9回	テーマ：オセアニアの訪日旅行の動向 豪州
第10回	テーマ：北米の訪日旅行の動向 米国、カナダ
第11回	テーマ：欧州の訪日旅行の動向 英国、フランス、ドイツ、イタリア
第12回	テーマ：課題と解決策① 訪日旅行の不満点
第13回	テーマ：課題と解決策② 接遇に関する注意点
第14回	学生による発表（1）
第15回	学生による発表（2）
テキスト	資料配布
参考図書・教材 /データ ベース・ 雑誌等の 紹介	『インバウンド概論』（株）JTB能力開発 『訪日旅行市場におけるディスティネーション・マーケティング研究』劉明 著 くんがる出版 『地域観光マーケティング戦略構築のあり方 -九州のインバウンド観光を事例として』劉明 著 く んがる出版 日本政府観光局のHP
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	「成績講評」を提示する。
学生への メッセー	「インバウンド観光論」を学ぶ意義を理解しておくこと。 ①アジアの国・地域に関する新聞記事をよく読むこと。

ジ・コメ ント	②少しでも長く勉強を続けること。 ③よく質問すること。 ④インバウンド観光研修に参加すること。
------------	---